



社報民きわい
第一八三號 地方新聞
已克城千 人行役部
く除九日 月日刊日
十二月一 月五 日一第

木工建築設計請負
平土地住宅
社長 正木昌次郎
平市町 電二〇二番

書は体育祭、夜は音楽祭

盛澤山な市の二記念祝典行事決る

新憲法發布の二記念祝典行事は、二十八日課長會議の結果、当日は午前九時から全市民の体育祭を、午後三時から、各區内會對抗技藝技藝會を開催すると共に、夜は一大音楽祭を、又記念講演會は第三校で、清宮博士に交渉中、區民の記念行事の一つとしては最近、遠く来た貯蓄心の涵養のために各區単位に記念貯蓄會を勵行させる、尙當日は早朝より花火を打揚げて民主日本の記念すべき日を市民に明るく徹底計劃に決定、具体案については各係で詳細なプランを早急に樹てさせることとなつた

常磐炭 単一組合結成

五務組 茨城の中郷、上山兩礦も参加

十一月三日湯本礦自治會館で

日曹赤井礦 闘争解決

十四日日曹赤井礦労働組合が提出された賃金値上要求は、団体協補助金として一時金十萬圓を支拂ふことになり、二十五日湯本礦に準備協議會を開いた結果、従來の常磐炭礦労働組合を解散、常磐炭礦単一労働組合を正式決定、來月三日午前十時から湯本礦自治會館に結成大會を擧げる、今後は一万一千の組合員が一致團結、他途自主的の組合として進むが、茨城縣下の中郷、上山兩礦も参加することになった、七ヶ月振りでのこの単一化は日曹系及び全炭系労働組合に與へる影響は甚大なものがある

山崎與三郎氏固辭

決らぬ商工會議所初代會頭

平商工會議所初代會頭は、二日山崎與三郎氏が固辭を表明、再三交渉の末、二日午後一時から市公會堂で、山崎氏に代り、初代會頭に、山崎與三郎氏が満場一致で推選された。山崎氏は、初代會頭に就任することを固辭し、二日午後一時から市公會堂で、山崎氏に代り、初代會頭に、山崎與三郎氏が満場一致で推選された。山崎氏は、初代會頭に就任することを固辭し、二日午後一時から市公會堂で、山崎氏に代り、初代會頭に、山崎與三郎氏が満場一致で推選された。

友誼會追善諸會

家元觀世元正師も特に出演

五選等について協議することに決定した

警城友誼會主催、平觀世會後援の故觀世友誼會一周年追悼諸會は、来る五日午前十時から平市公會堂日本間で開催する。家元で故友資師の甥に當る觀世元正師も山路信弘、武田太加志、岡久雄、北村郁三郎、及川光男師等を同道、特に臨席する。一般の來會者を歓迎、前日迄に上田耕作氏宅へ申込者に招待券を贈る。當日の番組は左の通りで、地方有志多数も出演、かつて例をみぬ豪華版で非常な期待されてゐる

郡青年協議會 十一月二日に

平市で結成式

郡青年協議會準備會は二十八日午後一時から市内二丁目千代田産業樓上に開催、各町村の公民館設置問題につき協議した。來月三日午後一時から市公會堂日本間に郡青年協議會の結成式を擧行、農閑を利用して急遽に設置することとした

白銀町が優勝

市内學童野球戦
第一國民校同窓會主催の市内學童對抗野球大會は二十六、二十七日の兩日、第三國民校、平商、平工の四球場で開催した。左の如き戦績で白銀町が凱歌を擧げた

第一回戦
白銀町五—二 城山
白銀町七—六 播磨小路

第三權現丸 無事塩釜へ

關係者愁眉閉
既報久し濱町江之銅匠所所長の底曳船第三權現丸（二三噸）七八船長佐藤治外九名乗組）

覇權は湯本青年會へ

本社支局主催軟式野球大會

本社湯本支局主催全町アマチュア軟式野球大會は十九、二十日に引續いて全町の人氣を煽つて、二十六日準々決勝を、二十七日準決勝と決勝戦を、湯本校町球場で開催した。兩日とも絶好の日和に恵まれ觀衆は球場を埋めつくし非常な盛り振りを示した。結果は左の通りで白熱的接戦の末、湯本三三三チームが快勝、榮えの優勝旗を獲得し、尚金本、鈴木、矢内三審判と大興奮商會主大隅五郎氏の盡力を深謝する

稚い姪を殺す

大野村で狂つた伯母の兇行

大野村山古港醫師小林正道氏は、予備も甚しい、これに當り同氏の姉子（四三）は、警備隊の勇退も漸く本來の精神に異常を來し、二十七日午前七時半頃同居中の味大谷榮子の長女洋子（五）を、奥八疊の間に連れ込み矢面に刃を刺して洋子さんの頸部を突き刺し即死させた

明朝出發

晴れの代表
吾等が選手四九名、驛前で大壯行會を

桃色の旅行靴

同日上映 南海のボバイ
2.9日より日夜通し
ニ—ナイテッド—ニ—
日本—ニ—ニ—封切

基金募集

不二洋子外約四十名

植田町 菊田 座
二十九日 夜二回 午後六時
主催 同胞援護會福島縣支部
後援 植田町役場

